

2009～2010年度 米山奨学生オリエンテーション報告

日 時：2009年4月14日（火） 16：30～19：30

会 場：ヴィアーレ大阪 2階

参加者：米山奨学生 30名 カウンセラー 33名
地区関係者 18名 米山学友会 3名

地区米山奨学委員会

委員 **米田 猛**

（大阪西RC）

2009～2010年度採用の米山奨学生の為のオリエンテーションが、4月14日（火曜日）午後2時より大阪市中央区安土町のヴィアーレ大阪にて、今年度合格者を対象に実施されました。

若林紀男PG（次年度米山奨学部門顧問）に挨拶をいただいた後、笠原隆之助委員長より、ロータリー米山記念奨学会とは日本全国のロータリアンの寄付金によって外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体であることの説明と、米山奨学生に選ばれた誇り、学問への熱意や将来の活躍に期待し、奨学期間中はもちろん、奨学金終了後もカウンセラーをはじめ、世話クラブの方々との連絡を絶やさないようにして下さいとお話がありました。各テーブルでは初対面の奨学生と世話クラブのカウンセラーがお互いに自己紹介し、話が弾んで緊張もほぐれた頃に新奨学生オリエンテーションが始まりました。

磯田郁子次年度地区米山奨学委員会副委員長よりパワーポイントによるスライドを利用してロータリーとは？、ロータリー米山記念奨学会とは？、米山奨学会の特徴、奨学生の心得など、詳細な説明が行われました。質疑応答の後、桜をモチーフにした奨学生バッジの説明がありました。桜の花びらは、これからさまざまなことを学んで花開こうとする奨

学生の皆さんであり、集まって満開となる桜のように、友好の花を咲かせ、日本と世界とを結ぶ架け橋となることを願ってデザインされたという由来があります。例会やロータリー関係の行事に参加する時に身につけて下さいとのことでした。奨学生の表情が解けた頃に、奨学生のレポートの提出など重点説明がありました。レポート未提出の場合は奨学金が停止され、資格を失い、確約事項を守らない場合、奨学金が打ち切られることもあると注意を促し、確約書の提出をもって第一部のオリエンテーションが終了しました。

17時30分、会場を隣の宴会場に移し、第二部の懇親会が武島秀吉委員の司会進行に従い、村橋義晃次年度委員長の乾杯のご発声により始まりました。奨学生全員の3分間スピーチは流暢な日本語の方、たどたどしい日本語の方とさまざまでしたが、懸命に挨拶しようとする真剣な眼差しは聞く者に新鮮な初々しい感動を与えました。締め括りに学友会について朴日関西米山学友会会長から話をいただき、最後に大谷透GEの閉会の言葉で全てのプログラムを終えました。

米山奨学生をお世話いただき、各クラブ米山委員会カウンセラーの方をはじめ、世話クラブの皆様には今年度もご苦労をおかけいたしますが、何卒よろしく願い申し上げます。

